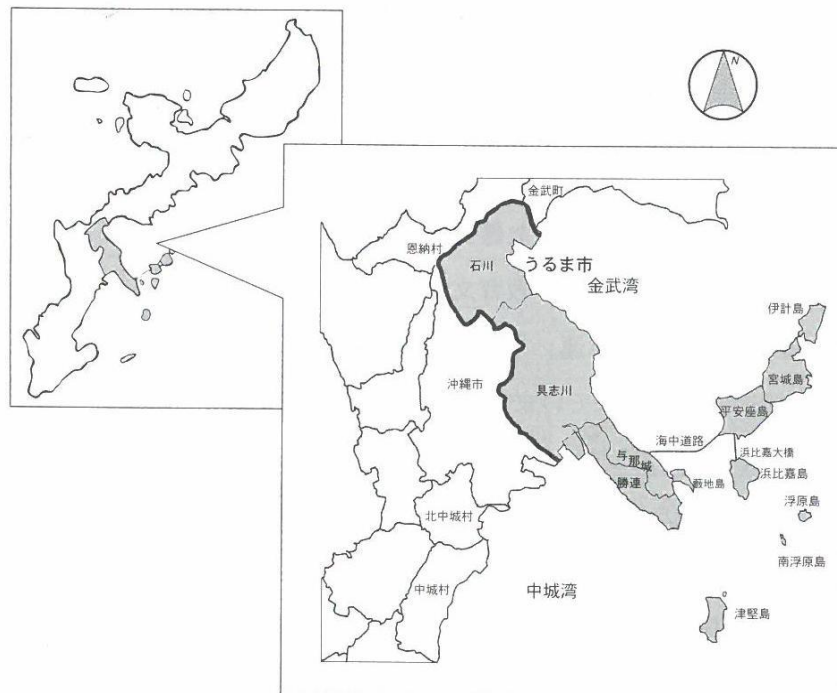


うるま市の概要

(1) 位 置

うるま市は、沖縄本島中部の東海岸に位置し、県都那覇市から北東へ約 25km の距離にあります。重要港湾である金武湾と中城湾に面し、東南部に広がる勝連半島の北方海上および東方海上には、有人、無人の 8 つの島々があり、美しい風景と豊かな自然環境に恵まれています。又、県内では人口で 3 番目、面積で 6 番目の規模となっています。

◎ 図：うるま市の位置



うるま市の位置			市庁舎の位置	
方位	地名	経緯度	地名	経緯度
極 東	伊 計	東経 128° 00' 15"	うるま市みどり町一丁目 1 番 1 号 (本庁舎)	東経 127° 51' 27" 北緯 26° 22' 45"
極 西	嘉手苅	東経 127° 47' 17"		
極 南	津 堅	北緯 26° 14' 29"		
極 北	石 川	北緯 26° 27' 01"		

◎うるま市のデータ

人 口：126,454 人（令和 6 年 3 月末日現在）

世帯数：57,507 世帯（ // ）

面 積：87.02 km²

市長名：中村 正人

所在地：うるま市みどり町一丁目 1 番 1 号

電 話：098-974-3111（代表番号） ホームページ：<https://www.city.uruma.lg.jp>

(2) 沿 革

うるま市は、具志川市、石川市、勝連町、与那城町の個性豊かな4市町が合併して生まれたまちです。

具志川市は、約4,000年前に生活が営まれた痕跡を残す古い歴史があり、琉球最古の歌謡集「おもろさうし」に“くしかわ”とあります。豊富な水資源と肥沃で広い土地に恵まれ、かつてサトウキビの生産が沖縄一を誇っていました。戦後、琉球大学の前身である沖縄文教学校、沖縄外国語学校や農林学校などが続々創設され、沖縄の文教の中心地として発展してきました。

石川市は、琉球王朝時代の寛文6年（1666年）以前は、現在の沖縄市を中心とする越来間切に含まれる農村集落でした。その後、越来間切から分割された美里間切に含まれ、明治41年の沖縄県島嶼町村制の施行に伴い誕生した美里村の一行政区として、昭和初期までその状態が続きました。そして、終戦直後、地方行政措置要綱に基づき美里村から分離し、石川市が誕生しました。戦中戦後には、米国により設置された難民収容所や琉球政府の前身である沖縄諮詢委員会や民政府が設置され、沖縄の政治・経済・教育文化の中心地として発展してきました。

勝連町は、古い文献に「賀津連」「賈慈連」という字で表現されており、1609年の喜安日記に初めて「勝連」の二字が記されています。12～13世紀の築城とされる勝連城は、阿麻和利の乱で落城する1458年まで栄えました。「おもろさうし」には、大和の京や鎌倉に例えられるほどの繁栄が謡われており、活発な海外との交易により発展してきました。また、勝連城跡は、「琉球王国のグスク及び関連遺産群」の一つとして、平成12年に世界遺産に登録されました。

与那城町は、約2,500年前の沖縄貝塚時代中期の沖縄最大の段丘集落跡といわれる「シヌグ堂遺跡」があり、尚真王の甥にあたる与那城王子朝原が授かった西原間切の集落でした。その後、平田間切、与那城間切と改名を重ね、沖縄県島嶼町村制の施行など歴史的な変動を経験しながら、発展してきました。また、海中道路（1972年）や伊計大橋（1982年）、藪地大橋（1985年）の完成により、島々の交通の便が飛躍的に向上し、離島苦の解消が図られました。

4市町は歴史的なつながりが強く、地縁、血縁など住民同士の交流は古くから続いていました。また、海に面し恵まれた地理的条件も含め、生活・経済・文化面において一体的な日常生活圏を構築していました。そして、平成16年9月の4市町の議会において、廃置分合をはじめとする合併関連議案が可決され、同年10月、沖縄県知事への合併申請後、平成17年4月1日に「うるま市」が誕生しました。

(3) うるま市の人口

(イ) 行政区別住民登録人口

令和6年3月末現在

行政区名	行政区コード	世帯数	男	女	計
具志川	1	2,031	2,255	2,355	4,610
田場	2	2,354	2,820	2,883	5,703
赤野	3	922	1,085	1,061	2,146
宇堅	4	542	679	647	1,326
天願	5	646	695	647	1,342
昆布	6	894	935	933	1,868
栄野比	7	956	1,038	952	1,990
川崎	8	983	1,111	1,149	2,260
西原	9	1,292	1,641	1,580	3,221
安慶名	10	1,487	1,483	1,638	3,121
平良川	11	1,075	1,218	1,208	2,426
上平良川	12	1,186	1,361	1,380	2,741
兼箇段	13	744	852	868	1,720
米原	14	1,161	1,377	1,410	2,787
赤道	15	2,544	2,574	2,636	5,210
江洲	16	1,863	2,155	2,185	4,340
宮里	17	1,760	1,787	1,833	3,620
喜仲	18	1,360	1,543	1,627	3,170
上江洲	19	1,293	1,412	1,405	2,817
大田	20	820	909	936	1,845
川田	21	508	595	590	1,185
塩屋	22	976	1,181	1,129	2,310
豊原	23	693	845	831	1,676
高江洲	24	588	682	776	1,458
前原	25	895	977	986	1,963
志林川	26	1,061	1,183	1,268	2,451
新赤道	27	821	893	978	1,871
みどり町1・2	28	990	1,147	1,213	2,360
みどり町3・4	29	1,044	1,169	1,213	2,382
みどり町5・6	30	980	1,033	1,053	2,086
具志川地域計		34,469	38,635	39,370	78,005
曙	31	1,491	1,566	1,578	3,144
南栄	32	490	487	453	940
城北	33	919	1,003	937	1,940
中央	34	494	520	523	1,043
松島	35	540	519	476	995
宮前	36	566	493	515	1,008
東山	37	930	813	787	1,600
旭	38	1,079	1,123	1,287	2,410
港	39	617	574	546	1,120
伊波	40	990	1,098	1,112	2,210
嘉手苅	41	398	374	397	771
山城	42	465	545	492	1,037
石川前原	43	1,454	1,632	1,755	3,387
東恩納	44	796	868	820	1,688
美原	45	417	442	448	890
石川地域計		11,646	12,057	12,126	24,183
南風原	46	1,709	1,868	1,867	3,735
平安名	47	1,772	2,140	1,978	4,118
内間	48	572	616	536	1,152
平敷屋	49	1,493	1,740	1,405	3,145
津堅	50	232	218	130	348
浜	51	127	132	95	227
比嘉	52	106	97	59	156
勝連地域計		6,011	6,811	6,070	12,881
照間	53	580	641	607	1,248
与那城西原	54	672	726	819	1,545
与那城	55	621	736	706	1,442
饒辺	56	662	761	724	1,485
屋慶名	57	1,742	1,938	1,761	3,699
平安座	58	601	624	534	1,158
桃原	59	119	117	81	198
上原	60	107	102	65	167
宮城	61	89	79	63	142
池味	62	45	49	30	79
伊計	63	143	134	88	222
与那城地域計		5,381	5,907	5,478	11,385
合計		57,507	63,410	63,044	126,454

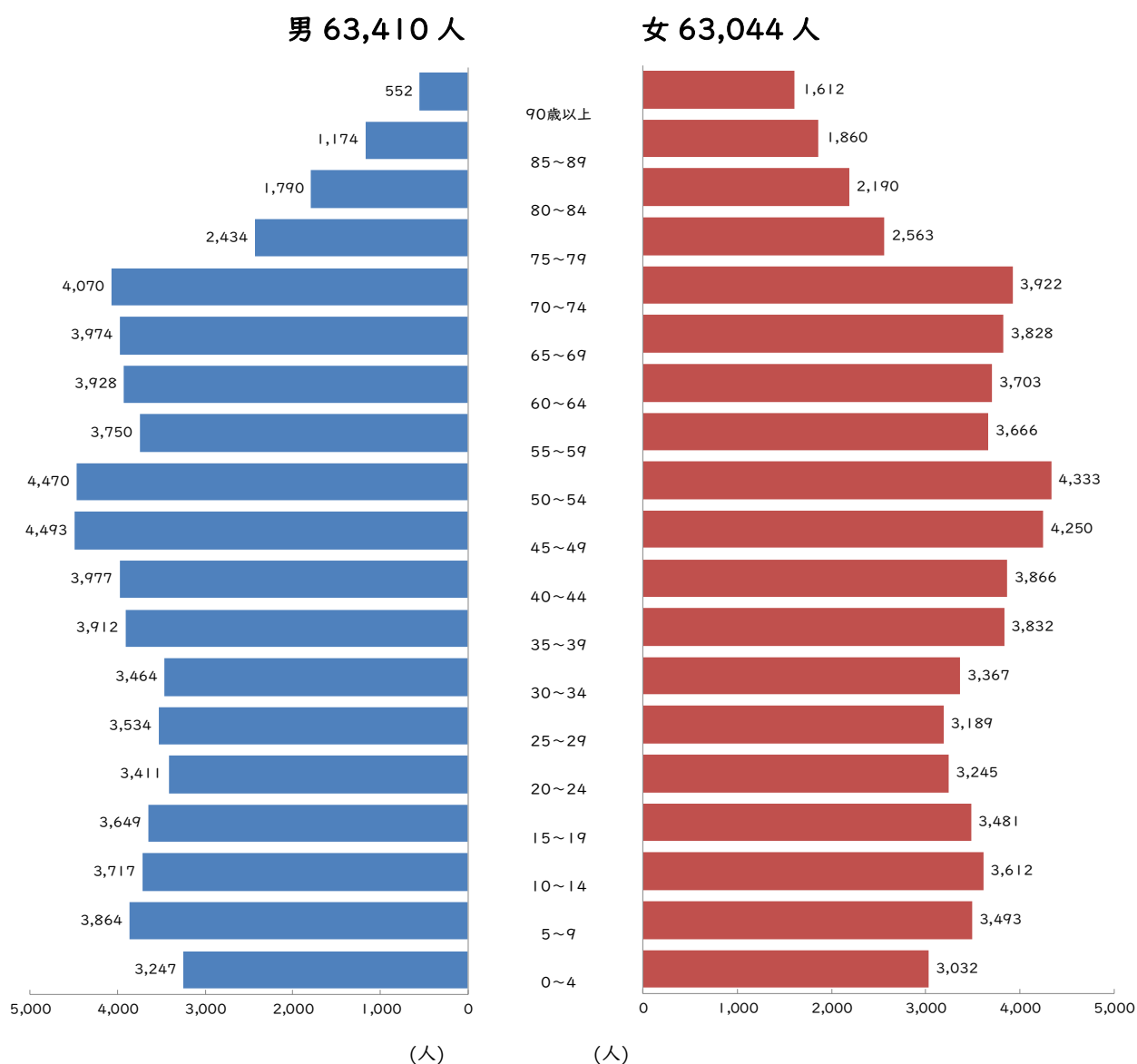
資料：住民基本台帳行政区別人口及び世帯数

(ロ) 年度別人口動態 (4月1日～3月31日)

(単位：人)

年 次	人口増加数			自然動態		社会動態		婚 姻	離 婚
	総 数	自 然	社 会	出 生	死 亡	転 入	転 出		
令和元年度	589	217	372	1,299	1,082	5,749	5,377	741	368
令和2年度	791	134	657	1,302	1,168	5,517	4,860	661	320
令和3年度	177	47	130	1,277	1,230	4,906	4,776	620	289
令和4年度	453	△114	567	1,162	1,276	5,494	4,927	536	293
令和5年度	431	△258	689	1,078	1,336	5,659	4,970	535	320

(ハ) 人口構成 人口ピラミッド (令和6年3月末時点)



(二) 年度別人口の推移

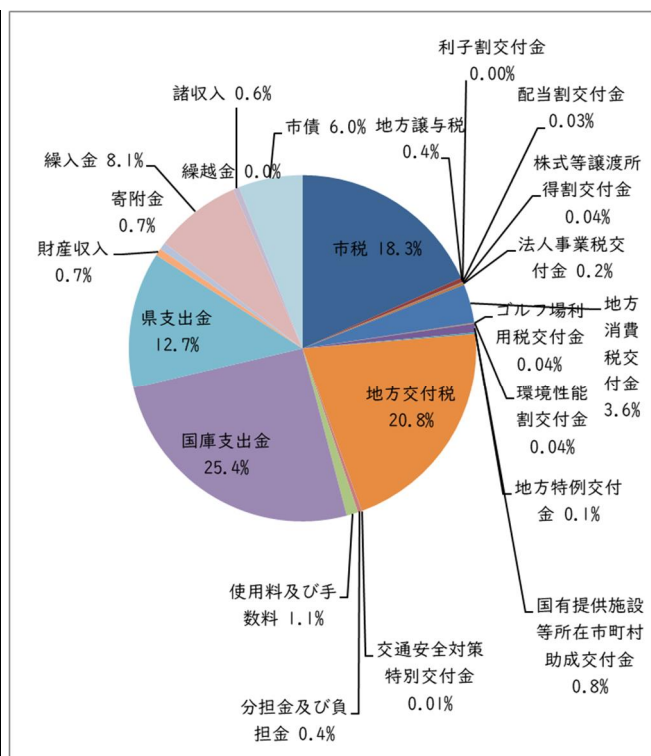
区分	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
男	60,888	61,148	61,511	61,824	62,322	62,707	63,021	62,929	63,120	63,410
女	60,697	60,939	61,191	61,484	61,692	61,896	62,373	62,641	62,903	63,044
計	121,585	122,087	122,702	123,308	124,014	124,603	125,394	125,570	126,023	126,454

(4) 令和6年度うるま市一般会計歳入歳出予算（当初）

歳入

（単位：千円）

款	金額	割合
市税	13,430,516	18.3%
地方譲与税	286,188	0.4%
利子割交付金	1,826	0.00%
配当割交付金	23,215	0.03%
株式等譲渡所得割交付金	25,866	0.04%
法人事業税交付金	160,497	0.2%
地方消費税交付金	2,649,060	3.6%
ゴルフ場利用税交付金	31,656	0.04%
環境性能割交付金	30,474	0.04%
国有提供施設等所在市町村助成交付金	597,972	0.8%
地方特例交付金	101,899	0.10%
地方交付税	15,238,667	20.8%
交通安全対策特別交付金	9,362	0.01%
分担金及び負担金	259,832	0.4%
使用料及び手数料	785,984	1.1%
国庫支出金	18,631,091	25.4%
県支出金	9,334,570	12.7%
財産収入	494,194	0.7%
寄附金	493,001	0.7%
繰入金	5,915,726	8.1%
繰越金	1	0.00%
諸収入	410,737	0.6%
市債	4,365,429	6.0%
歳入合計	73,277,763	100%



歳出

（単位：千円）

款	金額	割合
議会費	362,034	0.5%
総務費	6,186,880	8.4%
民生費	37,359,976	51.0%
衛生費	4,502,070	6.1%
労働費	61,216	0.1%
農林水産業費	1,232,280	1.7%
商工費	1,051,864	1.4%
土木費	4,748,930	6.5%
消防費	3,382,001	4.6%
教育費	9,262,123	12.6%
災害復旧費	4	0.00%
公債費	4,878,385	6.7%
予備費	250,000	0.3%
歳出合計	73,277,763	100%

